

全日本一般缶工業団体連合会

一般缶イノベーションフォーラム2017

中小企業の省エネ実現に向け

専門家を交えた討論を展開

全日本一般缶工業団体連合会は平成29年7月6日、東京・港区の浜松町東京會館で「一般缶イノベーションフォーラム2017」を開催し、会員企業など118人が参加した。第1部は日本排出量取引支援機構代表理事の木暮徹氏が「儲かる省エネが会社を救う！見える化が省エネの肝」と題し基調講演を行った。第2部はパネリストの鳥居廣氏がコーディネーターを務め「中小企業の省エネをどう実現させるか」をテーマに4人のパネリストが討論を展開した。第3部は交流パーティーを開き懇親を深めた。(司会是小西康晴運営副委員長)

第1部の基調講演で木暮氏は2009年

に国が実施した家電エコポイント制度の問題点などを指摘したあと、一般社団法人日本排出量取引支援機構の設立経緯や自ら考案した「省エネ診断士」資格、「携帯省エネポイント」制度、「建物まるごと省エネナビ」などのツールを紹介した。同氏はこれらの全国的な普及・展開を目指し、その必要性を訴えながら、とくに電気・ガス・水道などの

エネルギーを具体的な数値に置き換えて「見える化」にする手法での省エネ実践例を解説した。



基調講演をする木暮氏

パネリストディスカッション

テーマ 中小企業の省エネをどう実現させるか

パネリストの発言要旨

新開発のマフラーで内燃機関から出るCO₂を大幅削減

緒方 地球に優しく経済に貢献することをモットーに、平成5年から大気浄化装置の研究開発を始めて、内燃機関からすべての公害物質を大幅に削減することを達成した。今世界中のCO₂(二酸化炭素)の量は計算方法がおおまかすぎて真実の数字は発表されていない。人間の命よりも、地球がなくなるほうがもっと大事だし、次世代の子供を守るためならCO₂削減に貢献してほしい。先日、小池都知事に「自動車等の内燃機関から排出されるCO₂を削減するために使用過程車に対する燃費規制条例の施

行の要望書」を提出してきたところだ。

世界中の走行車は約15億台ある。そこから出ているCO₂の量は約32.5億トン。その20%、65億トンが内燃機関から出ている。世界中の15億台に、私の開発したマフラー(CO₂低減装置)を付けると、約60%のCO₂が取れることが確認できる。このマフラーは、大気圧を利用して、マフラーの中の空気の流を良くする。川の流れるように、川の縁を通る温度と真ん中を通る温度とは、真ん中のほうが若干冷たい。風の流れを早くすると、もろもろ冷える。だから普通、自動車のアクセルを一杯一杯(4000回転)ふかすと、マフラーの中の風速が約マッハ1.6速くなる。吹き矢と一緒に、狭めるとスピードが速くなる。そし



パネルディスカッションで省エネについて語るパネリストの皆さん

て側を二重構造にして大きくすると温かくなる。温かくなる場所でPM（微小粒子状物質）を、速くなるところでNOX（窒素酸化物）を削減する。このマフラーを大型長距離トラックに付けたら43%燃料を削減した。また、北九州のタクシーに付けたら、燃料が22%、NOXもCO₂も半分削減した。

省エネで費用下がった分は

従業員に還元を

木暮 「見える化」を中心に省エネを推進するESCO（エスコ）事業を40年間実践してきた。省エネ診断は自分でやる事がポイントであり一番身に付くことだ。家庭の省エネ診断であるファミリーエスコ事業も同じこと。自分の仕事は「油」からスタートした。工場を回ると油（潤滑油）がたくさん使われていた。この油は定期的（2年に1回）に新油と交換されていた。新油との交換で油の値段は高いので相当の費用が掛かっていた。これを人間でいえば血液の人工透析のように機械でろ過した。昭和51年当時、新油は1リッター120円、上等品で200円が50円から60円で再生できた。ろ過した油は精密機械にも結構長く使えた。

「電気」ではデマンドという電気のピーク電力をカットして、基本料金を下げるという仕組みを思い付いた。これまでに「油」「電気」「ガス」「水」といろいろな省エネの技にチャレンジしてきた。緒方さんの発明というのは、実は新しいタイプの、新世代の



多くの参加者が真剣なまなざしで聞き入る

マフラーである。このマフラーを付ければ、燃費が良くなり排ガスが半減することになる。燃料にはガソリン以外に重油、軽油等があるが、そこに電磁波・磁界を与えることで10%前後の省エネができる。これを複合的にやることで「燃料エスコ事業」になる。一つだけの商品ではなかなか補えないところを、いくつかの製品を結びつけてやるのがエスコ事業だ。イオングループでいろいろなエスコ事業に挑戦させてもらった中で、照明の交換や空調システムの変更に、集中式から分散式にしたところ3割も省エネになった。例えば冷却水ポンプや熱源を循環させるための循環ポンプをやめて、水を使わない空冷式のヒートポンプ水にする3割削減できる。このような事例は各種

工場でも活用することができる。「冷却塔」で発生する下水道料金も「見える化」するメーターを設置すればお金を掛けないで減免を受けられる。これも一人ではできないので全員参加の仕組みづくりをする。

製缶工場の例では、照明を蛍光灯からLEDに交換した。年間稼働時間が6000時間、1キロワット20円の計算だと2年で回収できる。これは十分エスコ事業なので、業者に任せなくても自分たちで照明の数を数えて、業者に見積もりを出すだけでできる訳である。

省エネで費用下がった分は従業員に還元することを経営者から宣言してもらいたい。全員参加でやれば下がった分はずっと続くので、例えばその半分を従業員に還元すれば絶対に継続するはずだ。

補助金活用した

設備改修で省エネ化実現を

岩佐 弊社は省エネコンサル会社として補助金の申請支援を行っている。特に経済産業省のエネルギー使用合理化（通称エネ合）補助金の中では、エネマネ事業者として活動しており、補助金を活用した設備改修という取組の中で、事業場全体の省エネ化を多く実現している。

省エネ関係補助金には実に様々な種類があるが、本日は「エネ合補助金」について事例紹介する。エネ合はエネルギー周りの補助金としては国内最大級で平成29年度の予算規模は234億円。いわゆる空調・照

明・キュービカル・生産機器に関わる設備改修費用を国が2分の1ないし3分の1補助する内容になっている。エネマネ（エネルギーマネジメント）事業者を通じて設備改修の基本設計に、空調・照明以外にEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入した場合に限り2分の1の申請ができる。EMSは空調などの制御ができるだけではなくて、事業場全体のエネルギーの見える化を行うことができる。

平成28年度のエネ合補助金の導入事例として、群馬県のプラスチック製品製造工場を紹介する。設備の更新範囲は照明・空調・生産設備（成形機）。この案件は水銀灯・蛍光灯をLEDにし、パッケージエアコンを改修して、成形機を油圧式から電動式に切り替えた。総事業費は8982万円、補助率2分の1で申請を行い、実質導入金額は5095万円。途中経過であるが、電気料金は4月から7月までの4ヶ月分の削減割合が30.8%、年間使用電力量は31.6%、費用対効果では、実質導入金額5095万円に対し、削減電気料金は376万円と予測される。投資回収は13.6年になる見込み。特筆すべき点は、事業場全体のエネルギー使用量のうち、約半数近くを占めていた生産設備にメスを入れたことで飛躍的な省エネ化を実現できたことである。

個人が持つ希薄な

省エネ意識を改革せよ

定村 CO₂の削減は地球の命に関わる大

パネリスト略歴

緒方一雄 (おがた かずお) 氏

(一社)日本中小企業団体連盟 環境対策委員長
1947年福岡県生まれ。1980年総合商社(株)國商設立。1993年地球温暖化防止対策の活動を始める。

2005年アルゼンチントヨタハイラックに低公害装置を提供し、リコール問題を解決。2012年(株)地球環境自然科学技術研究所設立。CO₂低減装置(後付装置)、実用新案登録。車両・船舶・防衛装備品類として、全省庁統一資格取得。新エネルギー最先端技術で、主に、運輸部門から排出されるCO₂削減への取り組みに従事。2017年3月から現職



木暮 徹 (こぐれ とおる) 氏

(一社)日本排出量取引支援機構代表理事
1953年6月東京都生まれ。1976年3月独協大学経済学部卒。1988年各種省エネアイテムを組み合わせるエスコ事業開発、2002年ITによるエネルギー遠隔監視システム開発。2003年中空パウダーを用いた断熱塗料の研究開発に従事。2000年1月国際IT財団企画部主席研究員。現在、経済産業省・国土交通省が進めるマンションエスコ事業において「自然エネルギー発電を電池に蓄えて系統連携」を電気保安協会と研究開発予定。2010年4月から現職。



岩佐佳一郎 (いわさ けいいちろう) 氏

(株)リミックスポイント補助金チームリーダー
2014年(株)リミックスポイント入社。省エネ関連補助金のコンサルティング業務に従事。経済産業省「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」「中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金」、東京都「中小テナントビル省エネ改修効果見える化プロジェクト」「グリーンリース普及促進事業」など実績多数。2015年4月から現職。



定村 光 (さだむら ひかる) 氏

寺島製缶工業(株)代表取締役社長
1954年2月東京都生まれ。1977年3月明治大学経営学部卒。同年4月寺島製缶工業(株)入社。1984年4月同社取締役、1987年11月から現職。同社は1913年東京都墨田区寺島で創業、現在は茨城県にある工場で主にお茶缶、海苔缶を中心に一般缶を生産。近年は他社との連携を深め受託生産を推進。2015年6月から全日本一般缶工業団体連合会会長。2009年5月から東日本一般缶工業協同組合理事長。



コーディネーター略歴

鳥居 廣 (とりい ひろし) 氏

全日本一般缶工業団体連合会 理事 運営委員長
1951年9月生まれ。1970年高校卒業後、大阪・中村商事(株)入社。1972年4月(有)鳥居製缶入社。1981年7月取締役営業部長。1996年4月代表取締役専務。2002年4月代表取締役社長。2007年6月全日本一般缶工業団体連合会監事。2015年6月一般缶イノベーションフォーラム運営委員長。2005年5月東日本一般缶工業協同組合理事。2013年5月同組合常任理事。2015年5月同組合副理事長。2009年6月から現職。



きな問題だと思ふ。我々も一企業、一個人としても、それに協力していかなければならない。木暮さんの講演で省エネ問題は個人の意識が大事であるという話を聞いたが、日本のエネルギーの自給率は6%しかないのにアメリカの真似をして電力を使っている現状を見ると、日本の個人の省エネ意識は希薄と言わざるを得ない。以前、消費者との懇談会で缶の悪いところを聞いたところ、捨てるのが面倒くさいという話が出た。缶はリサイクル率も優秀な素材であるスタイルを使っているのに、一般の人たちは、まだ利便性を優先していることが分かった。こうした国民の抱いている意識を変えていかないとい将来の省エネやCO₂の削減は難

しい。

会場から一般缶経営者の省エネ事例を披露

全員参加の5S巡回で

エネルギーロス回避

(有)須貝金属工業所・関根浩二社長

当社では、従業員全員参加で、8グループに分けて10~15分の「5S」巡回をしている。目的は安全確保を考えながら5Sをきっちり行うため。危ない作業や設備はなにかを確認でき、整理整頓が進む。例えば修理用の工具が見つからないと5~10分機械を止めてしまうロスが出る。プレス機械も回しっぱなしなのに製品はできていないロスになり、同時にエネルギー・電気代の

ロスにもなる。「5S」巡回でこうしたロスを防げるのであれば、これは省エネだと思う。

デマンド管理とLED化で省電化

大阪製缶(株)・清水雄一郎社長

当社は電気を使う機械が多く、年間2500万円位の電気代を払っていたので、7年位前にデマンド管理を始めた。この結果、年間の電気代が500万円少なくなった。以降はそれ以上の電気代節約は難しいが、デマンドで監視し続けることで電気代が大幅に上がらないところにメリットがある。さらにコンプレッサの更新を始め、LEDへの交換を経費や場所などから徐々

にしている。あとは、営業車をガソリンからハイブリッドにしたり、極力燃費のいい車を導入している。

コーディネーターから一言

鳥居 今回のテーマは非常に難しい「省エネ」ということで、皆さんも十分理解していただけたか大変不安です。会社は売上第一、そこに原価があつて、営業利益がいくらという数字を見ている。その次に販売管理費があり、ここで省エネを実践してこの費用をできるだけ圧縮することが経営者に求められていると思う。本日はありがとうございました。

◆◆◆◆◆

定村光会長が留任 副会長に清水雄二郎氏、安藤宏行氏

全日本一般缶工業団体連合会は平成29年6月2日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で第39回定時総会を開催した。出席者は15人。山田秀雄西日本組合事務局長の司会で進行。中田成一副会長が開会の辞を述べ、定村光会長が挨拶したあと、同会長が議長となり議

事を進行した。「平成28年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「平成29年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」「全日本一般缶PR活動推進協議会の件」「3組合統合化問題の件」「事務所移転の件」「担当委員選任の件」「各組合報告事項の件」はいずれも原案通り可決承認された。

任期満了に伴う「役員改選の件」は、選任制の方法で理事15人、監事2人が選出された。最後に西日本、中部、東日本の各理事長から近況報告が行われ、池田祥三副会長の閉会の辞で終わった。総会終了後の理事会



総会終了後、出席者全員で記念撮影

で会長、副会長、専務理事が選任された。新役員は次の通り。

会長 定村光（東日本組合理事長・寺島製缶工業(株)社長）
副会長 清水雄二郎（西日本組合理事長・大阪製罐(株)社長）・安藤宏行（中部組合理

事長・日東製罐販売(株)社長）

専務理事 野口雅春（東日本組合事務局長）

理事 広浜泰久（東日本組合副理事長・(株)ヒロハマ会長）・鳥居廣（東日本組合副理

事長・(有)鳥居製缶社長）・竹内雅夫（東日本組合副理事長・金方堂松本工業(株)社長）

最上裕光（東日本組合常任理事・最上CAN(株)社長）・加島裕（東日本組合常任理事・

江戸川製罐(株)社長）・志賀正人（東日本組合理事・エヌエス金属工業(株)会長）

筒井久（東日本組合理事・(株)トーカーン社長）

馬場康之（西日本組合副理事長・善友金属(株)会長）

辻亘彦（西日本組合理事・三國金属工業(株)社長）

石川博章（中部組合副理事長・側島製罐(株)社長）

池田祥三（中部組合理事・興和製缶(株)社長）

監事 山本泰則（東日本組合常任理事・(株)東都製缶社長）

小西康晴（西日本組合副理事長・生野金属(株)社長）

会員組合通常総会報告

■東日本一般缶工業協同組合

理事長に定村光氏（再任）

副理事長に広浜泰久氏（再任）、鳥居廣氏（再任）、竹内雅夫氏（新任）

東日本一般缶工業協同組合は平成29年5

月19日、東京・文京区湯島の鉄二健保会館

で第39回通常総会を開催した。出席者は委

任状を含め40人。竹内雅夫常任理事の司会

で進行し、鳥居廣副理事長が開会を宣した。

◆平成29年度事業方針◆

懸案の3組合統合化問題は、東日本組合が平成29年度に実施する「課題解決プロジェクト事業」に協力しながら、この事業で明確化される組合組織の存在意義や組合理念などを踏まえながら慎重に対処していく。

実施事業では、本連合会が企画製作し市場に缶の良さを訴えてきた「オリジナルクッキー缶・浮世絵シリーズ」の販売事業が終了したので、これに代わり平成28年11月に制作した「一般缶もの知りDVD」の普及活動に重点を移す。このDVDを小学校社会科の副教材に活用してもらうためホームページにDVD誘導リンクバナーを新設するとともに東京都台東区立台東育英小学校の協力を得て、授業活用事例の動画を制作し、これを全国の小学校に普及させるツールとして活用する。展示会でのPRでは、「エコプロ2017」に昨年同様に出展し、一般缶の良さを3Rの面からアピールする。教育情報事業では、中小企業の省エネをテーマに基調講演とパネルディスカッションの構成で「一般缶イノベーションフォーラム2017」を開催する。

定村光理事長が挨拶ののち議長となり議事を進行。「平成28年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「平成29年度事業計画収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」「借入金残高の最高限度決定の件」

「3組合統合化問題の件」が上程され、いずれも原案通り可決承認された。任期満了に伴う「役員改選の件」は、指名推選により理事16人、監事2人が選出された。志賀

正人副理事長の閉会の辞で終了した。総会後の理事会で役付理事及び専門委員会正副委員長が選出された。新役員は次の通り。

理事長 定村 光 (寺島製缶工業(株)社長)

副理事長 広浜泰久 (PR委員長・(株)ヒロハマ会長)・鳥居廣 (財務特別委員長・(有)鳥居製缶社長)・竹内雅夫 (新任・課題解決プロジェクト特別委員長・総会運営委員長・金方堂松本工業(株)社長)

常任理事 最上裕光 (流通委員長・最上CAN(株)社長)・山本泰則 (3組合統合化特別委員長・(株)東都製缶社長・加島裕 (新任・教育組織委員長・景気動向等アンケート運営委員長・江戸川製罐(株)社長)

理事 志賀正人 (活路開拓委員長・エヌエス金属工業(株)会長)・朝倉みどり (株)江東堂高橋製作所取締役)・神宮善太郎 (表彰式運営委員長・(株)神宮製作所社長)・杉浦由記夫 (杉浦製罐(株)社長)・筒井久 (株)ト

1カン(株)社長)・澤田武史 (東邦金属工業(株)社長)・小黒保満 (日進製缶(株)社長)・水戸部伸寿 (水戸部製缶(株)社長)・小林達生 (明祐工業(株)社長)

監事 久保田裕美 (株)久保田製罐(株)社長)・関根浩二 (CPISM会運営委員長・(有)須貝金属工業所社長)

1944年9月生まれ。1967年3月大学卒。同年4月金方堂松本工業(株)入社。1995年11月取締役経理部長。2001年4月常務取締役。2009年3月代表取締役社長

■東日本一般缶工業協同組合役員歴/2013年5月理事。2015年5月常任理事。2017年5月副理事長

■全日本一般缶工業団体連合会役員歴/2013年6月理事



副理事長就任挨拶



東日本一般缶工業 協同組合
副理事長 竹内雅夫
金方堂松本工業(株) 代表取締役社長

このたび、平成29年5月19日開催の東日本一般缶工業協同組合の理事会におきまして副理事長に選任され就任致しました。

一般缶は古来より保存容器として生まれ、重宝、親しまれながら現在も生活、文化に欠かせない貴重な存在であります。業界として長い歴史として積み上げられております。それは日々の研究、開発の努力が実を結び又、お客様の様々なニーズに応じ時代に即応した取り組みが評価され、それによって一般缶が社会との結びが今でも貢献していることと存じます。当業界にとっても製造業としての誇りに値すると感じております。

今後とも一般缶のものづくりは更に未来へ続きます。組合の副理事長として情報力、企画力を生かし発展のため尽くす所存でございます。なにとぞよろしくお願い致します。

【経歴】

1944年9月生まれ。1967年3月大学卒。同年4月金方堂松本工業(株)入社。1995年11月取締役経理部長。2001年4月常務取締役。2009年3月代表取締役社長

■東日本一般缶工業協同組合役員歴/2013年5月理事。2015年5月常任理事。2017年5月副理事長

■全日本一般缶工業団体連合会役員歴/2013年6月理事

西日本一般缶工業協同組合

理事長に清水雄一郎氏(新任)

副理事長に小西康晴氏(再任)、馬場康之氏(新任)

西日本一般缶工業協同組合は平成29年5月18日、大阪市北区のANACPホテルで第49期通常総会を開催した。出席者は委任状を含め22人。中田成一理事長が議長に選任され、議事進行。「平成28年度事業並びに決算報告書の承認の件」「平成29年度予算案並びに事業計画承認の件」「組合創立50周年記念式典開催の件」は、いずれも原案通り可決承認された。任期満了に伴う役員改選の件」は、連記式無記名投票で理事9人、監事2人が選出された。馬場理事の閉会の辞で終了した。総会後の理事会で役付理事が選任された。新役員は次の通り。

理事長 清水雄一郎 (新任・大阪製罐(株)社長)

副理事長 小西康晴 (生野金属(株)社長)・馬場康之 (新任・善友金属(株)会長)

理事 辻亘彦 (三国金属工業(株)社長)・渡邊静雄 (江戸川製罐工業(株)社長)・岩橋徹 (株)ライトハウス金属工場社長)・下宮正裕 (下宮金属工業(株)社長)・渋谷眞理子 (明和金属工業(株)社長)・田中住子 (新任・平和製罐(株)社長)

監事 中山裕文 (中山製缶(株)社長)・山本浩之 (山雄製缶工業(株)社長)

1976年7月生まれ。2000年3月甲南大学卒。2003年3月大阪製罐(株)入社。2010年11月常務取締役営業部長。2013年10月代表取締役社長

■西日本一般缶工業協同組合役員歴/2015年5月副理事長。2017年5月理事

■全日本一般缶工業団体連合会役員歴/2015年6月理事。2017年6月副会長

理事長就任挨拶



西日本一般缶工業 協同組合
理事長 清水雄一郎
大阪製罐(株)代表取締役社長

この度、西日本一般缶工業協同組合の理事長に選任され、歴史ある協同組合の代表を務めることとなり、光栄に感じると共に身が引き締まる思いです。

変化の激しい世の中にあつて、一般缶業界の現状もまた需要の低迷・偏重、それに対する変化・対応を強いられるなど、厳しい状況が続いています。

私自身この業界に身を置いて14年ほどですが、歴代の理事長並びに理事、組合員そして賛助会員に至るまで、各人各企業が良好な関係を築いて共存共栄の意識を持ってこまめでやってきたように感じています。

変化の激しい状況下ですが、これまでの西日本一般缶工業協同組合の良いところを残しつつ、互いに学び合いさらに成長していける組合の環境を提供できるように、全力で取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

【経歴】

1976年7月生まれ。2000年3月甲南大学卒。2003年3月大阪製罐(株)入社。2010年11月常務取締役営業部長。2013年10月代表取締役社長

■西日本一般缶工業協同組合役員歴/2015年5月副理事長。2017年5月理事

副理事長就任挨拶



西日本一般缶工業
協同組合
副理事長 馬場康之
善友金属(株)代表取締役会長

昨年創立50周年を迎える節目の時に西日本一般缶工業協同組合の副理事長に選任され、何かお役に立てなければという思いが強くそしてその責任の重さに身の引き締まる思いで一杯です。缶業界に入って40年、西日本一般缶工業協同組合の一員として、もうすぐ10年になるうとしています。缶業界は、どちらかというとしゅリンクしていく状況ではありますが、業界全体が団結して社会、お客様、お取引様が喜んでいただき、そして幸せになるような容器作りをしていけば、きっと明るい未来があるのではないかと思います。まだまだ、未熟なものです。清水理事長を中心に、微力ながら努力していきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

【経歴】

1954年6月生まれ。1977年3月甲南大学卒。1977年12月善友金属(株)入社。1984年取締役。1995年5月代表取締役。2016年7月代表取締役会長。
■西日本一般缶工業協同組合役員歴／2009年5月理事。2017年5月副理事長
■全日本一般缶工業団体連合会役員歴／2017年6月理事

■中部製罐工業協同組合

理事長に安藤宏行氏(新任)

副理事長石川博章氏(再任)、山梨勝氏(新任)

中部製罐工業協同組合は平成29年5月23日、名古屋市のローズコートホテルで第67回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め8人。事務局が開会を宣し、池田祥三理事長が挨拶したのち議長となり議事進行。「平成28年度事業報告、収支決算報告及び剰余金処分案の承認に関する件」「平成29年度事業計画案及び収支予算案の承認に関する件」はいずれも原案通り可決承認された。「任期満了に伴う役員改選に関する件」は、指名推選により理事6人、監事1人が選任された。石川博章副理事長の閉会の辞で終了した。総会後の理事会で役付理事が選任された。新役員は次の通り。

理事長 安藤宏行(新任・日東製罐販売(株)社長)

副理事長 石川博章(側島製罐(株)社長)・山梨勝(新任・静岡製罐(有)取締役会長)

理事 中川 泰(センタープレス(株)社長)・近藤正臣(ライトハウス名古屋金属工場代表)・池田祥三(興和製缶(株)社長)

監事 田中耕太郎(株)銅辰製作所社長)

理事長就任挨拶



中部製罐工業協同組合
理事長 安藤宏行
日東製罐販売(株)
代表取締役社長

このたび、中部製罐工業協同組合の理事長に就任いたしました安藤宏行と申します。日東製罐(株)及び日東製罐販売(株)の社長をしております。その一方で、セントラルキャン(株)という18リットル缶製造会社の社長も兼ねております。組合活動には、かれこれ20年近く関わっておりますが、この間に経済環境は厳しさを増しているように感じております。会社が岡崎市にあり、名古屋から遠いこともあり、私自身、重責を担う役員には縁遠い存在と思っておりましたが、今回、はからずも伝統ある中部組合の理事長に推挙されました。中部組合の組合員は少数ですが、いずれも特徴を持った会社が頑張っております。先代の理事長から引き継いだ組合の役割や責務を深く認識し、先輩経営者たちと意見交換しながら、業界の発展に込められるよう、微力ながら最善の努力をさせていただきます。若輩ではございますが、皆様のご協力とご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

【経歴】

1960年3月生まれ。1982年3月明治大学工学部卒。1989年12月日東製罐販売(株)入社。以来、社長付で資材課長、取締役社長室長を歴任。1997年3月代表取締役社長兼日東製罐(株)代表取締役社長。2003年2月セントラルキャン(株)代表取締役社長。
■中部製罐工業協同組合役員歴／2003年5月理事。2017年5月副理事長
■全日本一般缶工業団体連合会役員歴／2017年6月副会長



スリランカのシーサーメタル缶工業社社長ら来日 一般缶連合会事務局を訪問

平成29年4月21日、開発途上にあるスリランカから製缶メーカーのシーサー・メタル・キャン・インダストリーズのアニル・ディシャプリヤ社長らが全日本一般缶工業団体連合会の事務所を訪れた。

アニル社長によると、同国には4つの製缶会社があり、同社は約25年前に設立された。1ヶ所の工場に主に飲料用王冠(100万個/日)と塗料系缶の金属印刷から製造までを自社で手掛けている。年商は1億ルピー(約8,000万円)。社員は70人で外国人はいない。社員の月給は3万円から16万円。就業時間は平日8:00~17:00、土曜日8:00~13:00となっている。

一行は事務所内の展示缶に興味深く見ながら一般缶業界の現状について同連合会の野口雅春専務理事から説明を受けた。アニル社長は「今後は日本企業とパートナーを組んで輸出したい」と語った。



事務局を訪れたシーサーメタル缶工業社のアニル社長(前列中央)

春期省エネセミナー 中団連と共同開催

全日本一般缶工業団体連合会は平成29年3月9日、東京・中央区の全国会館で春期省エネセミナーを一般社団法人日本中小企業団体連盟（中団連）と共同開催した。参加者は21人。テーマ1は「省エネに対する国の施策並びに省エネ関係補助金について」。講師は経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー課係長の喜多俊貴氏。テーマ2は「平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金（エネ合）に向けての概要予測及び実践的な傾向と対策」。講師は（株）リミックスポイント補助金チームムリウダの岩佐佳一郎氏。テーマ3は「中小事業所に特化した省エネ事例について」。講師は一般社団法人日本排出量取引支援機構代表理事の木暮徹氏。



講師の話に聞き入るセミナー参加者

合同部会開催

西日本一般缶工業協同組合は平成29年4月4日と同年6月2日の両日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のアウイーナ大阪で合同部会を開催した。平成28年の「鋼材値上げ動向に関する緊急アンケート」の結果報告と近々の鋼材動向について営業担当者が集まり情報交換した。出席者は両日とも8社12人。

＜主な意見内容＞

- ◆ 4月4日 *2月9日付の鉄鋼新聞によるとトン2万円の値上げ額で商談が確認されているが、状況はやや低いのではないかと
- ◆ *3月決算のところもあり、4月以降に値上がりの動きが加速するのではないかと
- ◆ 東と西では、東の方の動きが早いように見受けられる。
- ◆ 6月2日 *早い時期（7～8月）に決着したい意向もあるが、日程的には、まだバラツキがある。*鋼材の在庫の消化状況を見て考えて行きたい。*食用油等の値上げの問題もある。*種々の意見交換があったが、動きが加速していることから、次回の情報交換も早い時期に開催した方が良い。



営業担当者が集まった合同部会

平成28年12月～平成29年5月までの一般缶生産出荷実績

(単位:t)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	28.12	5,103 (5,567)	5,336 (5,185)	144 (312)	9,314 (7,486)
	29. 1	4,448 (4,907)	4,529 (4,166)	880 (385)	9,905 (7,822)
	2	4,704 (5,297)	4,544 (4,654)	97 (414)	9,927 (8,140)
	3	5,311 (5,504)	5,378 (5,150)	62 (483)	9,782 (8,185)
	4	4,880 (5,358)	4,856 (4,920)	40 (485)	9,751 (8,330)
	5	5,111 (5,391)	4,909 (4,861)	103 (447)	9,864 (8,529)
連合会データ	28.12	4,038 (4,236)	4,080 (4,244)		5,038 (4,094)
	29. 1	3,388 (3,711)	3,193 (3,523)		5,211 (4,215)
	2	3,406 (3,656)	3,264 (3,424)		5,262 (4,337)
	3	3,639 (3,788)	3,537 (3,650)		5,320 (4,389)
	4	3,678 (3,682)	3,562 (3,587)		5,357 (4,483)
	5	3,617 (3,569)	3,450 (3,424)		5,551 (4,598)

()内は前年同月実績 ※経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

金属産業取引適正化ガイドライン 経済産業省が策定公表 一般缶業界の事例が明記される

経済産業省は平成29年2月、金属産業における下請適正取引等のためのガイドラインを策定し、公表した。これは下請事業者と親事業者との間で、適正な下請取引が行われるよう、国が策定したガイドライン。望ましい取引事例（ベストプラクティス）や、下請代金法等で問題となり得る取引事例等が分かりやすく、具体的に記載されている。この中で、親事業者の禁止事項である「返品禁止」に関連して、一般缶業界に関係する事例が明記された。

一般缶業界においては、菓子メーカー又はレジャー施設会社からの委託を受け、特定の印刷を施した菓子用の缶を納入する場合、印刷不良を理由に返品されることがある。その際、検査基準が明確でなかったり、検査を一般缶メーカーに文書で委任していないことがあり、返品禁止規定に抵触する恐れがある。

定村理事長から優良従業員8人に表彰状を授与

東日本一般缶工業協同組合は平成29年2月24日、東京・中央区の明治座「菊の間」で第37回優良従業員表彰式を開催した。来賓として関東経済産業局産業部製造産業課の齋藤幸世課長と東京都中小企業団体中央会の堀内忠専務理事が出席し、組合員各社から推薦された優良従業員8人を表彰した。

表彰式は神宮善太郎運営委員長の司会で進行。志賀正人副理事長が開会の辞を述べたあと、定村光理事長は「日本の現在の平均寿命は先進国でもトップクラスであるが、1950年当時は1番低かった。1960年頃から高度経済成長で国民の生活が豊かになり、国民皆保険制度も確立されたおかげで平均寿命が伸びたと思う。しかし平均寿命の伸びだけをみても喜べない。肝心なのは寝たきりにならず自分1人ですべてできる「健康寿命」のほうである。健康寿命を長く維持できれば長く働ける。高齢社会に対応した方向性として、企業においても定年制の枠にこだわらない緩やかな雇用制度が望まれる。受賞者のみなさんも一日一日健康に留意され、会社に貢献できることを各自考えながら長く職場で邁進していただきたい」と挨拶した。続いて同理事長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が渡された。金方堂松本工業(株)技術開発チーム係長の渋谷幸世氏が謝辞を述べたあと関東経済産業局の齋藤課長、東京都中央会の堀

内専務理事から祝辞が述べられた。竹内雅夫常任理事が開会の辞を述べ、記念撮影のち表彰式は終了。そのあと受賞者は明治座「福田こうへい特別公演」を楽しんだ。受賞者は次の通り(敬称略)。

渋谷幸世(金方堂松本工業(株))、小熊裕子(金方堂松本工業(株))、江川勝(金方堂松本工業(株))、小更まさ子(寺島製缶工業(株))、高橋芳光(株トーカン)、高倉早百合(株ヒロハマ)、石塚嘉美(株ヒロハマ)、別所岳歩(水戸部製缶(株))

受賞者から寄せられた主な感想

◆初心を忘れず精進していきたい。

◆さらなる努力を重ね製缶業に邁進する。

◆職場での仕事に励みながら社員の一人として会社の発展に尽くしていく。

◆この受賞を機に、業界発展のため良品をより量産する方法を考え、努力していきたい。

◆初めての受賞に感激し、充実した二日になった。同業他社の人に負けないようより一層頑張る。



表彰式会場で記念撮影。前列右から3人目が関東経済産業局齋藤課長、同2人目が東京都中央会堀内専務理事

東日本一般缶工業協同組合 教育講習会を開催

テーマ 「あなたの会社も活用できる 助成金のいろは」

東日本一般缶工業協同組合は平成29年5月19日、東京・文京区湯島の鉄二健保会館で教育講習会「あなたの会社も活用できる助成金のいろは」を開催した。これは公益財団法人東京都中小企業振興公社のオーダーメイド研修制度を活用したものの。参加者は28人。講師は中小企業診断士で東京都中小企業振興公社の専門相談員的那須藤生氏。同氏は「助成金の長所を知り、そのメリットとデメリットを理解する。目的に応じて助成金の種類を探す。実施主体も国・都道府県・民間財団法人など幅広い」と説明し、モノの導入や開発にかかわる助成金の例やヒト・雇用環境に関する人材確保、人材育成、人材定着のための助成金の事例を紹介し、多岐にわたる助成金の活用の仕方をやさしく解説した。



やさしく解説する那須講師

テーマ 「知っておきたい発想法」

東日本一般缶工業協同組合は平成29年2月3日、東京・墨田区文花のすみだ中小企業センターで教育講習会「知っておきたい発想法」を開催した。これは同センターのオンデマンド制度を活用して、モノやサービスなど商品づくりに向けてアイデアを出す方法を学び、仕事に生かしてもらおうと教育・組織委員会が企画したもの。参加者は10人。開会に当たり加島裕教育・組織委員長が開講の挨拶をした。講師はすみだ中小企業センター技術相談員の伊藤英樹氏。同氏は①スキャンパー(SCAMPER)②ユーシット(USIT)オペレータ③ひとりできるブレインストーミング④TRIZ(トゥリーズ)を中心に多彩な発想法とその使い方を分かりやすく紹介した。



プロジェクターで多彩な発想法を学ぶ

（株）藤田ワークス工場見学を終えて
雄大な自然の中で作られる
確かな本物
エコイ（株） 高橋幸太郎

平成29年3月3日～4日の2日間、一般缶友会は鹿児島県にある精密板金業をされている（株）藤田ワークスの工場見学に13社16人で行ってきました。

（株）藤田ワークスは上野原テクノパークという高台に位置しており、幸いにも天候に恵まれたため、眼下には鹿児島島の雄大な景色を臨むことが出来る好立地にあります。

最初に大広間で会社説明をビデオ映像と共に受け、その後工場見学をさせて頂きました。社屋はモダンな造りになっており、最上階（4階）はゲストルームとしてバーカウンターやジャグジーなどが設備されており、希望があれば社員も使用することが出来る等、遊び心があります。

事業内容としては高精度精密板金となっており、半導体部品や航空部品等その名に恥じない部品を製造しており、クレーム率は驚異の0.002%と非常に高い品質レベルを保っていることが分かります。

工場内はレーザーカッター等我々の業界では見たことも無い設備が多数あり、基本的にはプログラムに沿って自動で動いているため、さながらSF世界に迷い込んだような錯覚に陥ります。

会社全体の印象として受けたのは、5Sが行き届いているため整然としており、ま

た社員の平均年齢は30代後半と非常に若い
ため、照明による明るさ以上に明るくエネルギッシュな雰囲気にも包まれています。ボトムアップで社員の意見を取り込み、より良い作業環境を作るべく社員一丸となって改善を進めている印象を受けました。また、業界内で先駆的な動きを取るべく毎年海外視察を行い、国際情勢をいち早くキャッチ



（株）藤田ワークス工場正面玄関前で記念写真

することで差別化を図っていました。

今回見学をさせて頂き、同じ鉄鋼業界の中でも業種が変わることで自分の中の常識が180度覆されたと驚きを隠せないのと同時に、なかなか見ることの出来ないものが見られたので非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、見学を終えた夜の懇親会では参加された方々と親睦を深めることが出来ました。

最後になりましたが、この度貴重な機会を設けて頂きました（株）藤田ワークスの方々、並びに鹿児島研修旅行を企画して下さいました幹事の皆様に深く感謝を申し上げます。本当ありがとうございます。

事務所を移転

全日本一般缶工業団体連合会
東日本一般缶工業協同組合

全日本一般缶工業団体連合会と東日本一般缶工業協同組合は、従来の事務所（東京都台東区台東1-6-6）である古茂田ビルのオーナー・（株）フージャースコーポレーションから同ビルを解体し再開発事業に着手したい旨の要請があったため、平成29年7月1日に事務所を移転した。移転先住所と連絡先は次の通り。

住所：〒111-0053
東京都台東区浅草橋5-4-5
ハンモットビル5F502号
電話：03-5809-3136
FAX：03-3864-0911

今年も

全日本一般缶工業団体連合会

エコプロ2017に出展します

■平成29年12月7日（木）～9日（土）

■東京ビッグサイト東ホール全館

エコプロ2017は消費財や生産財、エネルギー、各種サービスまで、700社・団体が出展する環境とエネルギーの未来展。来場層はビジネスパーソンをはじめ、政官財界VIP、環境意識の高い生活者、NPO、未来を担う子どもたちまで、様々なステークホルダー17万人が来場予定。19回目となる今回もスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展し、エコの優等生である一般缶を広くPRします。



昨年出展したエコプロ「スチール缶」ブースの様子

暑中お見舞

申し上げます

(順不同)

全日本一般缶工業団体連合会

会長 定村 光

東京都台東区浅草橋五丁目一五
ハシモトビル五F五〇二
電話〇三(五八〇九)三三三六
FAX〇三(三八六四)〇九一一

工又工金属工業株式会社

代表取締役社長 中田 則彦

茨城県つくば市緑ヶ原四丁目六
電話〇二九(八四七)七二二〇
FAX〇二九(八四七)六七七九

東邦金属工業株式会社

代表取締役 澤田 武史

東京都江戸川区松島四丁目三七一六
電話〇三(三六五四)八九一一
FAX〇三(三六五五)七三四八

善友金属株式会社

代表取締役社長 砂川 秀樹

大阪府大阪市淀川区加島
四一〇一四四
電話〇六(六三〇九)四〇三二
FAX〇六(六三〇一)二一〇〇

新日鐵住金株式会社

代表取締役社長 進藤 孝生

東京都千代田区丸の内二丁目六一
電話〇三(六八六七)四一一一

東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村 光

東京都台東区浅草橋五丁目一五
ハシモトビル五F五〇二
電話〇三(五八〇九)三三三六
FAX〇三(三八六四)〇九一一

江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島 裕

東京都江戸川区平井五丁目四六一九
電話〇三(三六一二)四一三一
FAX〇三(三六一七)五〇三四

中川製罐株式会社

代表取締役社長 中川 太郎

東京都文京区湯島三丁目六一一三
電話〇三(三八三六)〇六九一
FAX〇三(三八三六)〇六九三

江戸川製罐工業株式会社

代表取締役社長 渡邊 静雄

大阪府大阪市鶴見区今津北
一七一一三八
電話〇六(六九六八)六七六一
FAX〇六(六九六二)三二五八

JFEスチール株式会社

代表取締役社長 柿木 厚司

東京都千代田区内幸町二丁目一三
日比谷国際ビル
電話〇三(三五九七)三一一一

西日本一般缶工業協同組合

理事長 清水 雄一郎

大阪府大阪市北区天神橋一丁目一七
千代田第一ビル
電話〇六(六三三三)一九七三
FAX〇六(六三三三)一九六七

金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内 雅夫

東京都台東区東上野一丁目八一三
電話〇三(三八三二)一一九一
FAX〇三(三八三二)七二四一

日進製缶株式会社

代表取締役 小黒 保満

埼玉県八潮市南後谷五〇八一二
電話〇四八(九三五)三五六一
FAX〇四八(九三二)一八四九

奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村 清司

京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電話〇七七四(八二二)〇七八
FAX〇七七四(八二二)四三二四

東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 隅田 博彦

東京都千代田区四番町二丁目二
電話〇三(五二二一)六二一一
FAX〇三(五二二一)〇一八一

中部製罐工業協同組合

理事長 安藤 宏行

愛知県瀬戸市安戸町一三一一八
電話〇五六(八四四)四八五八
FAX〇五六(八四四)四八五八

株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮 善太郎

千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電話〇四(七二二五)一二六一
FAX〇四(七二二五)三六三七

水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部 伸寿

東京都千代田区神田和泉町
一一一三一
電話〇三(三八六六)一一六六
FAX〇三(三八六六)二三八八

下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮 正裕

大阪府堺市堺区南島町三丁目一三一
電話〇七二(二三三)八一二〇
FAX〇七二(二三三)八一四〇

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田 正和

東京都墨田区業平一丁目一六
本所ビル二階
電話〇三(三六二六)二四一一
FAX〇三(三六二六)二五〇二

寺島製缶工業株式会社

代表取締役 定村 光

東京都葛飾区立石二丁目二五一一
ヘルザ立石一〇八
電話〇三(三六九三)〇八四一
FAX〇三(三六九四)七七五九

杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦 由記夫

茨城県守谷市百合ヶ丘二丁目四八〇七
電話〇二九(七七四八)二五五一
FAX〇二九(七七四八)二五五二

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水 雄一郎

大阪府東大阪市岩田町二丁目二二八
電話〇六(六七二二)五五四五
FAX〇六(六七二二)三四七〇

新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣 悦夫

奈良県天理市永原町五五
電話〇七四(三六六)三三三一
FAX〇七四(三六六)三三一四

東京都鉄力地金商業協同組合

理事長 茂木 孝之

東京都中央区日本橋大伝馬町一丁目七
電話〇三(三六六三)八三五七
FAX〇三(三六六三)八三五八

株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 本多 三郎

東京都墨田区石原二丁目二八一一一
電話〇三(三六二五)一六八〇
FAX〇三(三六二五)一六八八

大和サービス株式会社

代表取締役社長 山口 修司

静岡県静岡市清水区中之郷三丁目六一
電話〇五四(三四八)九一三〇
FAX〇五四(三四八)九一三四

生野金属株式会社

代表取締役 小西 康晴

大阪府高石市高砂三丁目二四
電話〇七二(二六八)〇七七七
FAX〇七二(二六八)〇七八二

日西製罐株式会社

代表取締役社長 矢谷 満里子

大阪府大東市御領三丁目一五一一〇
電話〇七二(八七四)〇九七一
FAX〇七二(八七五)四二五二

暑中お見舞
申し上げます
(順不同)

株式会社ライトハウス
金属工場
代表取締役 岩橋 徹
大阪府大阪市鶴見区今津中
電話 〇六(六九六三)〇四四一
FAX 〇六(六九六八)二二九八

スチールリーフ株式会社
代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五一四八―一五
電話 〇三(三六二〇)八〇三〇
FAX 〇三(三六二〇)八〇六〇

二橋プリント株式会社
代表取締役 二橋英之
埼玉県三郷市彦川戸一三八―六
電話 〇四八(九五三)二三六六
FAX 〇四八(九五三)五四二一

株式会社井上博商店
代表取締役社長 井上歩美
大阪府大阪市住吉区万代東
電話 〇六(六六九)一一二五
FAX 〇六(六六九)一一二七

平和製罐株式会社
代表取締役 田中住子
大阪府泉南市りんくう南浜三一―七
電話 〇七二(四八二)〇一〇〇
FAX 〇七二(四八二)〇一〇一五

日東製罐販売株式会社
代表取締役社長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五)一五六一
FAX 〇五六四(五)一五六三

エイコー株式会社
代表取締役社長 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

株式会社城北鉄力印刷工業所
代表取締役 竹腰忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇―一
電話 〇四七(一九八)二六一一
FAX 〇四七(一九八)二七七九

**JFFE商事
ブリキセンター株式会社**
代表取締役 清末浩史
大阪府大東市御領三一七―三
電話 〇七二(八七〇)九七三二
FAX 〇七二(八七〇)九七三〇

三国金属工業株式会社
代表取締役 辻 巨彦
大阪府豊中市豊南町西四一七―二〇
電話 〇六(六三三三)〇二五一
FAX 〇六(六三三三)〇二五五

高野興業株式会社
代表取締役 高野康弘
東京都墨田区本所一―二―三
電話 〇三(三六二二)一六六六
FAX 〇三(三六二二)六二六四

株式会社MOBY
代表取締役社長 清野泰樹
千葉県市川市塩浜一―一四
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

株式会社江連金属印刷所
代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

是松鋼商株式会社
代表取締役社長 是松 一郎
大阪府東大阪市楠根二―六―三
電話 〇六(六七四八)二三六一
FAX 〇六(六七四八)〇四〇〇

明和金属工業株式会社
代表取締役 渋谷眞理子
大阪府高石市取石七―五―一六
電話 〇七二(二七四)一〇一〇
FAX 〇七二(二七四)六三六五

富安株式会社
代表取締役社長 田川正之
東京都墨田区太平四―五―一五
電話 〇三(五六二)七七七〇
FAX 〇三(五六二)七七七六

大成ブリキ印刷株式会社
代表取締役 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二
電話 〇二九七(八六)二二〇一
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

新里機工株式会社
代表取締役 金澤幸一
埼玉県川口市東領家四―七―一
電話 〇四八(二九)九〇九七
FAX 〇四八(二九)九〇九八

三幸商事株式会社
代表取締役社長 武田有広
大阪府大阪市西区北堀江
電話 〇六(六五四)三五八五
FAX 〇六(六五四)二四一五

山雄製缶工業株式会社
代表取締役 山本浩之
大阪府大阪市北区天淀中
電話 〇六(六四五)五一四一
FAX 〇六(六四五)〇八二一

中村商事株式会社
代表取締役社長 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一―七―一
電話 〇三(五六八)五九一一
FAX 〇三(五六八)六一五五

東都金属印刷株式会社
代表取締役 菅谷誠一
千葉県船橋市小野田町一五二―三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

株式会社N・P・W技研
代表取締役社長 山本健士
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九)一一三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六

日東金属工業株式会社
代表取締役 大久保 八城
大阪府八尾市太田七―一六
電話 〇七二(九四九)六七一一
FAX 〇七二(九四九)六七五九

有限会社山野初製缶所
代表取締役 木下光美
大阪府八尾市太田七―一〇
電話 〇七二(九四八)〇五五八
FAX 〇七二(九四八)二八五五

明邦鋼業株式会社
代表取締役社長 窪島孝行
埼玉県越谷市新川町一―一四五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社
代表取締役 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二五)一五八一
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

松本金属工業株式会社
代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二―二―一八
電話 〇六(六三三)〇九四一
FAX 〇六(六三三)九四四九

西部容器株式会社
代表取締役社長 川島大吾
大阪府摂津市別府二―三―一八
電話 〇六(六三四九)一六五一
FAX 〇六(六三四九)七二二八

暑中お見舞 申し上げます

(順不同)

株式会社伊賀井商店

代表取締役 大岩憲正

愛知県東海市南柴田町の割
電話〇五二(六〇三)五五九一
FAX〇五二(六〇三)五五九五

株式会社愛罐コーポレーション

代表取締役 桑田敬士

東京都渋谷区恵比寿南一―一六―一
電話〇三(五七二〇)五五一五
FAX〇三(五七二〇)五五一六

大貫金属工業株式会社

代表取締役 大貫賢充

東京都葛飾区東新小岩五―一七―二
電話〇三(三六九一)六一七九
FAX〇三(三六九一)六一七九

日本メタルプリント株式会社

代表取締役 大塚吉弘

千葉県船橋市南海神一―一八―一
電話〇四七(四三三)〇〇一一
FAX〇四七(四三三)九七六一



◆東日本一般缶工業協同組合 CPSM会

平成29年4月19日鷹之台カンツリ倶楽部で第62回CPSM会を開催。参加者は24人。
上位入賞者は次の通り。

- 優勝 牧野亮太氏(マキノ製缶) 47・51・98・27・71
 - 二位 中田正和氏(大成プリキ印刷) 47・41・88・12・76
 - 三位 関根浩一氏(須貝金属工業所) 46・48・94・16・78
- 次回は平成29年11月に行う予定。

◆一般缶缶友会ゴルフコンペ

平成29年5月27日穴戸ヒルスカントリークラブコースで第11回一般缶缶友会ゴルフコンペを開催。参加者は14人。
上位入賞者は次の通り。

- 優勝 海老塚与将氏(齋藤製罐) 53・47・100・28.8・71.2
- 二位 鳴原邦明氏(スチールリフ) 51・49・100・26.4・73.6
- 三位 小林達生氏(明祐工業) 54・58・112・38.4・73.6

◆西日本一般缶工業協同組合 缶友会ゴルフ会

平成29年5月11日大阪府の池田カンツリ倶楽部で、晴天の下、第149回のゴルフ会を開催した。
上位の入賞者は次の通り。

- 優勝 佐藤一平氏(佐藤製缶) 40・43・13・70
 - 二位 増田竜介氏(井上博商店) 38・41・7・72
 - 三位 森 尚氏(明和金属工業) 55・50・31・74
- 次回は平成29年10月に行う予定

平成29年2月から7月までの行事

- 2/2 〔東日本一般缶工業協同組合〕事務局長協会「新年交流会」
- 2/3 〔東日本一般缶工業協同組合〕「知っておきたい発想法」講習会
- 2/8 東京都中小企業振興公社「人材力向上・組織活性化セミナー」
- 2/22 事務局長協会「理事会」
- 3/3 第37回優良従業員表彰式
- 3/13 組合士協会「常任理事会」
- 3/24 第4回3組合統合化特別委員会

第5回理事会(役員会)

CPSM会打合せ会議
東京中央会「団体向け課題解決プロジェクト支援事業説明会」

- 3/22 事務局長協会「第61回定期総会」
- 3/23 第1回活路開拓委員会
- 4/3 監事会
- 4/4 第2回CPSM会
- 4/4 第1回教育・組織委員会
- 4/4 第1回常任理事会
- 4/4 第1回理事会(役員会)
- 4/20 中部組合打合せ
- 4/20 組合士協会「第42回通常総会」
- 5/5 「あなたの会社も活用できる助成金のいろは」講習会
- 5/5 第39回通常総会
- 5/18 東京中央会第65回通常総会
- 5/18 団体向け課題解決プロジェクト支援事業打合せ会議
- 5/31 全国組合士連合会「第34回通常総会」
- 6/5 算定基礎届申告説明会
- 6/16 浅草橋
- 6/16 〔西日本一般缶工業協同組合〕事務所移転(台東)
- 6/30 〔西日本一般缶工業協同組合〕役員会
- 7/4 〔西日本一般缶工業協同組合〕合同部会
- 7/4 缶友会ゴルフ会
- 7/4 第49期通常総会
- 7/14 〔全日本一般缶工業団体連合会〕経済産業省「金属産業取引適正化ガイドライン検討会」
- 7/14 厚生労働省「生産性向上事例セミナー」
- 7/26 東京中小企業経営友会事業協同組合「創立25周年記念式典」
- 7/26 中団連共催「春期省エネセミナー」
- 7/26 第2回理事会(役員会)
- 7/26 第2回理事会(役員会)
- 7/26 日本排出取引支援機構「街ごと省エネセミナー」
- 7/26 工場視察(株)トーカー(スリランカ缶工場社長)
- 7/26 東京都台東区立小学校校長連絡会
- 7/26 スチール缶連絡協議会
- 7/26 経済産業省「エネルギー使用合理化等事業者支援事業説明会」
- 7/26 監事会
- 7/26 第39回定時総会
- 7/26 第1回全日本一般缶PR活動

平成29年8月から平成30年1月までの行事予定

- 8/5 推進協議会
- 8/16 経済産業省「金属課長交代歓迎会」
- 8/16 一般缶イノベーションフォーラム打合せ
- 8/16 鉄鋼製品団体協会「通常総会」
- 8/16 公正取引委員会「事業者団体向け独禁法コンプライアンス説明会」
- 8/30 〔西日本一般缶工業協同組合〕事務所移転(台東)
- 9/3 浅草橋
- 9/3 エコプロ2017 出展ブース
- 9/3 WJG第2回会議
- 9/6 一般缶イノベーションフォーラム2017
- 9/26 スチール缶連絡協議会
- 9/26 〔一般缶缶友会〕
- 9/27 研修旅行in鹿児島
- 9/27 第11回ゴルフコンペ
- 9/15 〔東日本一般缶工業協同組合〕第2回常任理事会
- 9/15 〔東日本一般缶工業協同組合〕第2回理事会(役員会)
- 9/27 東京中央会「中小企業トップセミナー」
- 10/12 東京中央会「会長表彰式」
- 10/12 事務局長協会「職員交歓会」
- 10/12 第63回CPSM会
- 10/12 第3回常任理事会
- 10/12 第3回理事会(役員会)
- 10/12 忘年会
- 10/12 〔西日本一般缶工業協同組合〕役員会
- 10/12 合同部会
- 10/12 組合創立50周年記念行事準備委員会・H30・5・24開催
- 10/12 缶友会ゴルフ会
- 10/12 缶友会
- 10/12 〔全日本一般缶工業団体連合会〕エコプロ2017 出展ブース
- 10/12 WJG第3回会議
- 10/12 環境とエネルギーの未来展「エコプロ2017」
- 12/7 日本組合・全日本一般缶PR活動推進協議会合同忘年会
- 12/12 平成30年
- 12/12 3役年・始挨拶回り
- 12/17 第2回理事会(役員会)
- 12/17 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 12/17 第42回全国流通委員会・部会協議会
- 12/17 新年賀詞交歓会
- 12/17 〔一般缶缶友会〕
- 12/17 会計監査

組合伝言板

《代表者交代》

- 〔東日本組合特別会員〕
〔高田王冠製作所〕 高田 剛氏
代表取締役社長 高田 剛氏
平成29年6月
- マキノ製缶(株)
代表取締役社長 牧野亮太氏
平成29年6月
- 〔中部組合〕
静岡製罐(有)
代表取締役社長 松永明人氏
平成29年7月
- 〔西日本組合員〕
平和製罐(株)
代表取締役 田中住子氏
平成29年4月
- 〔協力・賛助会員〕
〔井上博商店〕 井上歩美氏
代表取締役社長 井上歩美氏
平成29年3月
- JFE商事プリキセンター(株)
代表取締役社長 清末浩史氏
平成29年4月

《新規加入組合員》

- 〔東日本組合〕
大和サービス(株)
〒112-0002
東京都文京区小石川2-15-17
電話 03-3812-1228
FAX 03-3813-8320
平成29年4月
- 〔東日本組合〕
最上製缶(株)
平成29年7月15日
- 〔西日本組合〕
日光製缶(株)
平成29年3月31日

《住所変更》

- 〔西日本組合員〕
平和製罐(株)本社
〒590-0535
大阪府泉南市りんくう南浜3-17
電話 072-482-0100
FAX 072-482-1015
平成29年7月31日
- 〔お梅やみ〕
平成29年4月26日
〔高田王冠製作所代表取締役社長 高田勝雄様〕逝去